

「名人和牛」を統一ブランド化。「名人会」運営協議会



配合飼料「名人シリーズ」を給与した肉用牛の出荷をもって研究会及び共励会を開催している「名人会」運営協議会(柴田良幸会長)はこのほど、国内産地の枠を超えた本格的黒毛和牛ブランドの確立に向けてこれまで「名人給与牛」として出荷してきた肉用牛の呼称を「名人和牛」に改めて統一し、全国ブランドとして本格的な販促活動を展開していくことを決めた。

名人会は配合飼料「名人シリーズ」を使用している肉牛生産者と同シリーズの開発者である茨城県畜産農業協同組合連合会と雪印種苗(株)、そして全国畜産農業協同組合連合会の4者で組織する肉牛生産グループ。メンバーは、北は北海道から南は九州宮崎県までの20地域に及び、産地を超えてエサと飼養管理を統一して生産された。同じおいしさの和牛ブランド”を目指すとしている。これまでに研究会を41回、共励会は4回開催しており、過去5回(364頭)の平均成績は枝肉重量515.8kg、上物率(A・B4等級以上)88.16%。品質評価の指標の一つとしてオレイン酸値の全頭開示にも取り組んでおり、食肉脂質測定装置による計測結果(研究会等1330頭)の平均値は56.6と好成績を納めている。

ハンガリーからの生きた家禽肉などの輸入を26日に停止

農水省は26日、ハンガリーからの生きた家禽、家禽肉などの輸入を停止した。経緯はハンガリーの肥育用あひる農場において、高病原性鳥インフルエンザ(H5N8亜型)の発生が確認されたと26日に同国家畜衛生当局から通報があったため同措置をとった。

2013年の同国からの輸入実績は家禽の肉などが1694t、家禽の臓器等が508tとなっている。

壇れいさんが日本食普及特別親善大使に「和食の拡がりに期待」

農水省は26日省内で、日本食普及特別親善大使の任命式を開き、同大使に女優の壇れいさんを任命した。当日は林農相から壇れいさんに任命書が授与された。任命を受けて壇れいさんは「一口食べるとほっとこころが暖かくなるような和食がもっと世界中の皆様にあされますよう、そのお手伝いができることを嬉しく思っています」と抱負を語った。

